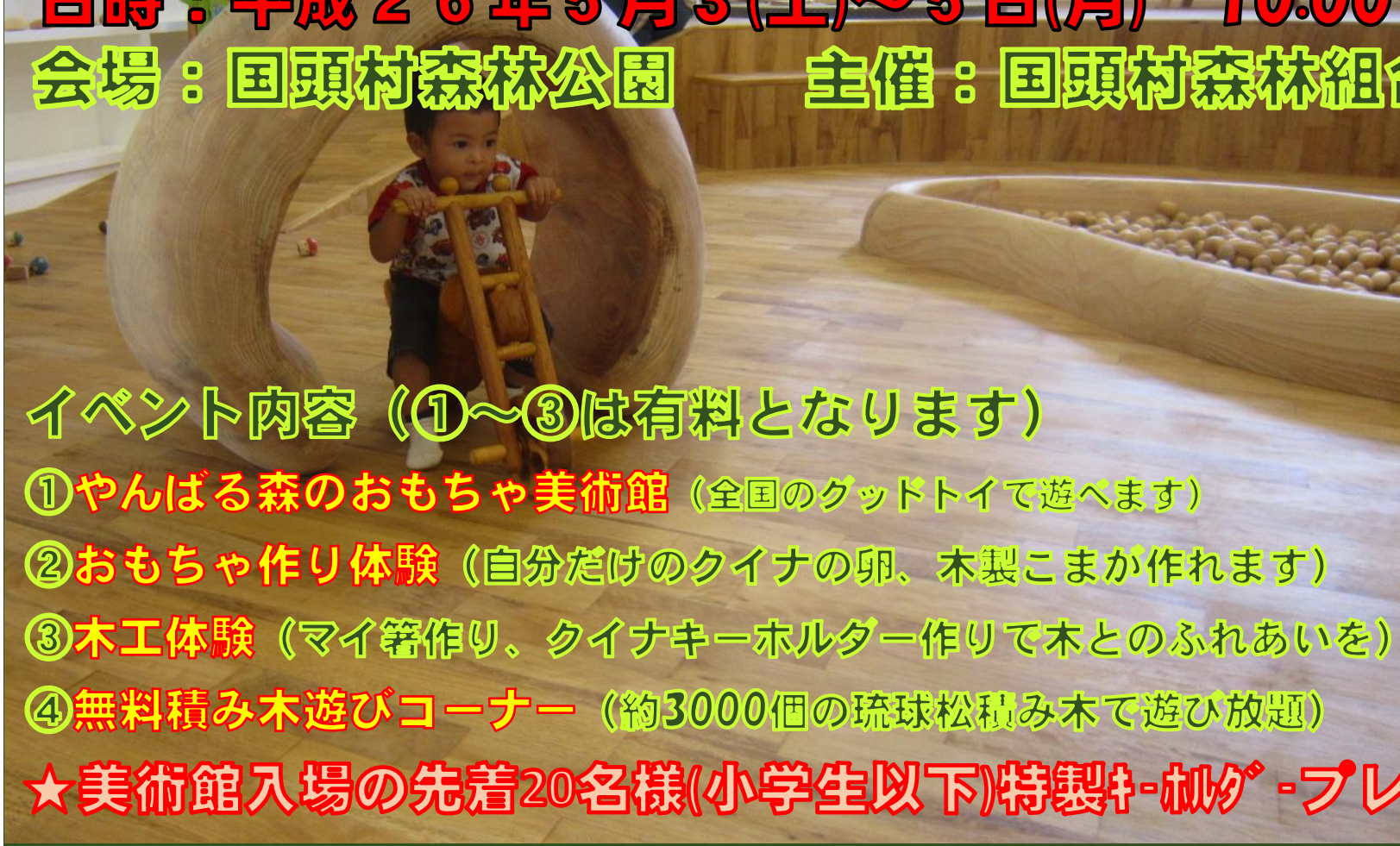


2014GWスペシャルイベント

第1回 森林公園木育フェア

日時：平成26年5月3(土)～5日(月) 10:00～16:00

会場：国頭村森林公園 主催：国頭村森林組合

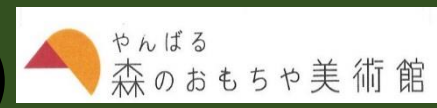


イベント内容 (①～③は有料となります)

- ①やんばる森のおもちゃ美術館 (全国のグッドトイで遊べます)
- ②おもちゃ作り体験 (自分だけのクイナの卵、木製こまが作れます)
- ③木工体験 (マイ箸作り、クイナキーホルダー作りで木とのふれあいを)
- ④無料積み木遊びコーナー (約3000個の琉球松積み木で遊び放題)

★美術館入場の先着20名様(小学生以下)特製#-杵ダ-プレゼント!

問合せ先：0980-50-1022(国頭村森林公園)





森のおもちゃ美術館

やんばる



沖縄県最北端の「やんばるの森」世界的にも貴重な森の中に木のおもちゃの体験施設「やんばる森のおもちゃ美術館」が開館しました。沖縄県国頭村が設立する、木のぬくもりあふれる「木育」体験ミュージアムです。



館内の壁は、おきなわの職人さんが沖縄の木材を使って制作したおもちゃが沢山並んでいます。自由に触れて、遊んで木の温もりを体感してください。

多様な生き物を育む森林

やんばるの森は鳥獣のノグチゲラやヤンバルクイナ、昆虫類のヤンバルテナゴコガネなど、世界的に珍しい固有種をはじめ、たくさん生き物を育んでいます。これらの生き物はやんばるの森の中で多様な生態系を創り上げてきました。そしてこの生き物と樹木によって、美味しい空気や水が生まれ、森からの栄養分はきれいな海につながっています。

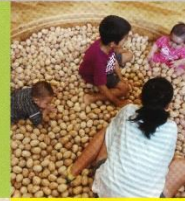


人びとの暮らしを支えたやんばるの森

やんばるの森とは国頭三村に広がる広大な森林のこと。その森から伐り出される木材はかつて琉球王朝時代、首里城の建築に使われていました。また、戦後は復興のための建築材や薪炭材として、現在はやんばるの特有の木材の供給地として貴重な役割を果たしています。やんばるの森のおもちゃ美術館は、その森の中にあるのです。



琉球王国の林墓の父と呼ばれる蔡温(1682-1761)。蔡温が植えた私は「蔡温松」と呼ばれ親しまれていますが、大正会館によって倒れてしまいました。館内には、その倒木とした樹幹300年と言われる「蔡温松」をくりぬき、すべり台やトンネルなどを制作。遊具で沖縄の木の歴史を体感できます。



やんばるの森を代表する木・イタジイ

この美術館の床は、やんばるの森の約60%を占めるイタジイの板で作られています。このイタジイ、秋にはドングリの実を豊かに実らす。森の動物たちにとっては、ありがたい木でもあります。さらにイタジイは天然記念物で沖縄の鳥獣でもあるノグチゲラやヤンバルテナゴコガネなど、森の多様な生物たちのすみかも提供しています。



アクセス

- ◎那覇空港より車で約2時間30分
- ◎沖縄自動車道 許田ICからは車で約65分



国頭村

